

■日常の点検

指導内容

1 目的

乗車前に点検を実行することで故障による事故やトラブルを未然に防ぎ、他の交通への危険も防止することができます。

2 日常の点検項目

主な点検項目の頭文字は「ネンオシャチエブクトウバシメ」と覚えます。

- ① ネン : 「燃料」 燃料漏れがないか、十分な燃料が補充されているか。
- ② オ : 「オイル」 エンジンオイル量が規定値を満たしているか。汚れていないか。
- ③ シャ (タ) : 「車輪」 (タイヤ) 空気圧・磨耗状況・亀裂や異物がないか。
- ④ チ : 「チェーン」 チェーンへの注油は適切か。遊びは規定値であるか。
- ⑤ エ : 「エンジン」 始動の状況や異音などないか。オイル漏れがないか。
- ⑥ ブ : 「ブレーキ」 パッドやブレーキ液の残量は規定値以上にあるか。前後の効き具合はどうか。レバーやペダルの作動状況の確認。
- ⑦ ク : 「クラッチ」 クラッチの切れ、レバーの遊びは適正か。
- ⑧ トウ (ト) : 「灯火類」 ヘッドライト、方向指示器、テールライト、ストップランプ、ホーンなど作動、点灯や損傷の確認。
また、テールライトのチェックと同時に自賠責保険の期限が切れていないかも確認。
- ⑨ バ : 「バッテリー バックミラー ハンドル」 などの機能や汚れ、がたつきなどを確認。
- ⑩ シメ : 「締め」 各部のボルトやナットの締め具合の確認。

※ 点検は運転を始める前に明るく平らで安全な場所で実施しましょう。

※ 次の重要4項目の不具合は事故に直結しやすいため、最低限必ず点検しましょう。

重要4項目：⑥ ブレーキ ③ タイヤ ⑧ 灯火類 ① 燃料

「ブ・タ・ト・ネンリョウ」と覚えます。

3 まとめ

日常の点検では最低でも重要4項目をしっかりとチェックし、車両の状態を確認するようにしましょう。

また、乗車前に車両を点検することで心に余裕が生まれ、安全運転にも繋がります。万一不具合が発見され、自分の手に負えないような場合には、速やかに販売店などに点検整備を依頼するようにしましょう。

また、トラブルを未然に防止するためにも、定期的に販売店などに依頼し点検整備を実施しましょう。詳しい日常の点検の要領については、取扱説明書で必ずご確認ください。

